

<p>テーマ</p>	<p>話し合い、意見等</p>
<p>A 私ができる 日常的な小さな お手伝い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住む地域に溶け込むことは、大変重要なことである。情報提供すること。</li> <li>・外国から来た方は、私たちが思っている以上に苦労していると思いました。地域の情報(生活上で使える情報)を発信したり、交換したりする場が必要。</li> <li>・情報を提供する場の大切さを伝える前に、自分の目を見た、感じたことを伝えるのが、安心できる。</li> <li>・ゴミの日の朝、声かけをする。町内会へのお誘い。</li> <li>・情報提供の場がもっとあると良い。外国から来た方たちが、「何を知りたいか」を知ることが、まず必要。</li> <li>・とりあえず話しかける。(言葉が分からなくても)教えるだけでなく、その方の文化も教えてもらう。</li> </ul>
<p>B 外国の食文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食を通じてその国のことを知ることができる。言葉が通じなくても、食べて感じられ、分かりやすい。</li> <li>・お料理が好きなので、まず家にお招きして、日本料理を食べていただき、それをきっかけに海外のお料理を教えていただきたいと思います。お料理を通して交流できたらいいなと思います。</li> <li>・食文化は、その国独特のもの。受け入れる心が大事。チャレンジあるのみ。</li> <li>・「ゲテモノ」も食べればおいしいかも？栄養満点。</li> <li>・食べることにはとても興味があるが、あまり知らないなので、これから勉強していきたいと思います。</li> <li>・外国へ行くハードル。人によっては「食」。最近では、言葉はポケットークにお任せすれば安心。何でも食べられる人は、食文化を楽しめるね。</li> <li>・旅先での「食」の経験は、貴重なものになる！食べるだけでなく、自分で作ってみるのも楽しみのひとつ。食は、その国の文化も映し出す。</li> <li>・外国に行く楽しみは、その国独特のものを食べることも大きいと思います。どんな料理でも、その土地の方の生活の一部なので、お互いに尊重していくことが大切だと思います。</li> </ul>
<p>C 趣味から 繋がる 国際交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語は完璧でなくても、勇気・情熱があれば、コミュニケーションできる。</li> <li>・日本語以外の言葉を話す時に、恥ずかしがらずに話す通じるのでは！相手に気持ちを伝えたい「熱意」</li> <li>・「アニメ」を通して交流を深める。結構、外国の方は日本のアニメ通。日本語を覚える教材になるかも。文化も学べる。</li> </ul>
<p>D 複文化・複言語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語学教育が遅れている。</li> <li>・交流する場が必要。</li> <li>・勇気を出して話しかける。</li> <li>・日本語が話せない親と、話せる子どもとの間が上手くいかない。</li> <li>・異文化圏の中で、自分の文化に誇りを持って、強く生きていくことを切に願う。</li> <li>・恐ろしくてばかりで、なかなか一歩が踏み出せなかったのですが、これを機会に前進したいと思います。</li> <li>・外国の方との交流するきっかけを自ら考えることも、大事だと感じました。</li> <li>・外国人を受け入れる時、その地域の環境によって異なる。これからは、もっと開けていくのではないかな。</li> <li>・それぞれの国の文化や言語を、お互いに尊重することは大切であるが、なかなか難しい面もある。もっと、個人と個人の繋がりを強くすることで、理解できることがたくさんある。</li> <li>・まずは話しかけてみることで大切。いろんな国の言葉のあいさつを覚えたい。国際交流ラウンジが必要！</li> </ul>
<p>E 一番興味を 持った活動</p>	<p><b>【友ゆうスペース】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習向上しないけど、子どもたちは楽しくしている。</li> <li>・日本の学校に通う外国人の子どもたちにとって、必要不可欠な場所。もっと拠点を増やして参加する子どもを増やせたらいいのにな〜と。外国の子が、日本に頼れる存在がある、というのは大切なこと！</li> <li>・学習支援というより、外国に繋がる子どもたちの居場所。親でも教師でもない存在が、心の支えになれば…ということ。とても願います。予定さえ合えば、参加したい。</li> <li>・「神奈川区の」外国に繋がる子どもたち、全体に行き渡るように、拠点を増やしたらどうか？という意見を聞いて、「水・土はだめなんだ」と思っていた自分は、目からウロコ！無いなら自分が作ればよい！</li> <li>・神奈川区にいる外国に繋がる子どもたち全てに、先生でも親でもない大人がいる居場所ができるような、友ゆうスペースの支店を作る？</li> <li>・友ゆうスペースが、子どもたちの居場所としてあること、このまま続いて、そのうち子どもが成長したら、入ってみたい。</li> </ul> <p><b>【KANAK】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が、すぐに何か役に立てそうだと、思いました。</li> </ul>

	<p><b>【鶴見国際交流ラウンジ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆知っているのだろうか？行政案内。</li> <li>・複言語・複文化の言葉が新鮮でした！ラウンジ(機能)があると良いな～！南区のような市民活動支援センターと多文化共生ラウンジが同じところにあったら良いなあ！</li> <li>・神奈川区は交流スペースが少ない。区民活動支援センターが区役所内にあるのは、不便。市民の活動が見えない。</li> </ul>
<p>全体のテーマ</p> <p>神奈川区の国際交流 どうする？</p>	<p><b>【交流する場・情報発信の場が必要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＊お互いのことを知るのに、ふれあう機会・場所が大切だと思っています。</li> <li>＊神奈川区は国際交流ラウンジがないので、あればいろいろな情報を得たり、知り合いを作る場が必要だと思いました。</li> <li>＊外国人が増えているので、ラウンジがあれば、外国の方も安心して暮らせると思う。</li> <li>＊外国人に対してもっと交流できる場があることをアピールできるといいと思います。是非、交流ラウンジを作ってください。</li> <li>＊もっと交流の場を設け、情報を発信していく。</li> <li>＊国際交流の話ができる場を多く作る事が大事。その輪をもっと大きく。</li> <li>＊区内に交流の場をたくさん作り、誰でも気軽に参加できるようにする。</li> <li>＊気軽に立ち寄れる、情報集めができる空間があるといいな～ラウンジ的な。</li> </ul> <p><b>【HP、Facebook】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＊HPの工夫</li> <li>＊Facebookのコミュニティを作ってみては？#国際交流、#神奈川区、#子育て</li> <li>＊神奈川区の情報を集めてポータルサイトを作ると良い。手始めのFacebook？</li> <li>＊国際交流Facebookでサイトを作るなど。(コミュニティ・ポータル)</li> </ul> <p><b>【企画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＊お祭りで、外国人だけの団体に企画、参加。</li> </ul> <p><b>【地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＊支援型の外国籍国際交流はもちろん大切なことですが、それだけではなく、自分たちが住む地域の良さを        知ること、愛着を感じることも、大変大事な事だと思っています。</li> <li>＊外国人に限らず、孤独にさせないのが大切。</li> <li>＊外国に繋がる方たちが自分に自信を持って日本で生きていけるような取り組みが、学校や地域の中で交        われるよう、具体的に考えていきたい</li> </ul> <p><b>【行政・学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＊区民に対して、外国人居住者が多いことをアピール。</li> <li>＊学校も、複言語・複文化を教える必要がある。</li> <li>＊行政と共に動かないと難しいと思う。家庭と学校の主張が違くと、ボランティアだけでは、難しい。</li> </ul> <p><b>【個人で…】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＊個人レベルでできることと、区政を巻き込まないとできないこと、を整理してみる必要がある。</li> <li>＊知らないことに興味を持つことが必要。</li> </ul>